

令和5(2023)年度

# 横中シラバス



大阪市立横堤中学校

## ☆「シラバス」の作成にあたって

この冊子は、横堤中学校の年間の学習内容（カリキュラム）や評価のしかたについてまとめたものです。本校の学習活動の全般を、生徒のみなさんや保護者の皆様に、より一層理解していただくために作成いたしました。

各教科の学習進度予定や評価方法の基準と内容について、また年間のテスト計画もまとめています。ご確認ください。

年度初めにあたり、生徒のみなさんへは教科ごとに「学習の内容」や「授業を受けるにあたっての心構え」などについて、教科担当から話をしていますが、保護者の方も確認していただければ幸いです。

この一年間の学習目標を立てるためにも、ぜひご確認ください、子ども達の学習目標の設定に役立てていただきますようお願いいたします。

なお、学習進度上、多少の変更等が出る場合もございますので、そのときは、必要に応じて連絡させていただきます。

### 個に応じた指導の充実について

個に応じた指導の充実をめざして、各学年の国語・数学・英語等の授業におきまして基礎・基本の内容をより確実に定着させるために、『習熟の程度に応じたコース別学習』を実施しております。通常のクラスを分割して少人数の授業を行ったり、2人の先生が同じクラスに入って授業を行ったり（T.T.）することで生徒の学習内容の理解や学習意欲の向上を図りたいと考えています。

できるだけ、きめ細やかな指導を展開しながら、生徒個々の能力に応じた学習を推進し、個々の学力向上に努めていきます。

# 令和5(2023)年度 評価評定について

令和5年4月

通知表の評価を、3段階の「観点別学習状況」の評価と5段階の「評定」を用いて行います。その基準については、以下の通りです。

## 1. 「観点別学習状況の評価」について

個人内のよい点や可能性、進歩の状況などを表しています。

教科ごとにそれぞれの観点をA・B・Cの3段階で評価します。

A・・・十分満足できる

B・・・おおむね満足できる

C・・・努力を要する

\*次のページ以降に、教科ごとの目標や規準などを示しています。

## 2. 「評定」について

学習の実現状況を観点別に数値で表したものを総括して、個人の達成度を5段階で評価します。

5:「十分満足できるもののうち、特に程度が高い」状況と判断されるもの

4:「十分満足できる」状況と判断されるもの

3:「おおむね満足できる」状況と判断されるもの

2:「努力を要する」状況と判断されるもの

1:「一層努力を要する」状況と判断されるもの

\*次のページ以降に、A=3、B=2、C=1というように数値化した総合点で評価基準を示しています。

## 3. 評価の期間について

1学期の「評定」・・・4月～7月の学習の実現状況の評価

2学期の「評定」・・・4月～12月の学習の実現状況の評価

学年末の「評定」・・・4月～3月の学習の実現状況の評価

## 『定期テスト日程』

1学期中間テスト	5月25日(木)～26日(金)
1学期期末テスト	6月26日(月)～28日(水)
2学期中間テスト	10月12日(木)～13日(金)
2学期期末テスト	11月21日(火)～22日(木)・24日(金)
学年末テスト(3年)	1月22日(月)～24日(水)
学年末テスト(1・2年)	2月26日(月)～28日(水)

## 『実力テスト日程(3年生対象)』

第1回実力テスト	6月7日(水)
第2回実力テスト	8月28日(月)
第3回実力テスト	10月19日(木)
第4回実力テスト	11月15日(水)
第5回実力テスト	1月10日(水)

\*上記日程は予定になります。日程変更の場合もあります。毎月の月中予定でご確認ください。

# 第1学年／国語科

## 授業内容、授業の進め方

- ・各領域・事項の系統性をふまえたうえで、身に付けさせる能力の基礎・基本となる学習内容を厳選し、生徒が主体的に取り組むことが出来るように指導の重点化を図っています。
- ・生徒一人ひとりの学習の習熟度に応じた学習内容の工夫を行います。
- ・学習目標を明確にして、学習課題に意欲的に取り組んでいきます。
- ・音読・朗読・暗唱等の言語活動により、読みの理解力を向上させます。
- ・授業内容をメモしたり、自分の考えをまとめたりするという活動を増やします。
- ・学習成果を振り返ったり、伝えあったりすることにより、学習内容の定着を図ります。

## 持ち物

- ・教科書 ・便覧 ・ノート(B5サイズ) ・ファイル ・漢字ノート ・筆記用具

## 評価規準(目標)と評価基準(判断基準), および評価資料

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<p>○「話すこと・聞くこと」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。</li> <li>・音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。</li> <li>・語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> </ul> <p>○「書くこと」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。</li> <li>・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。</li> <li>・指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。</li> <li>・事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・比喻、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。</li> </ul> <p>○「読むこと」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。</li> <li>・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。</li> <li>・事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> </ul>	<p>○「話すこと・聞くこと」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。</li> <li>・「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめている。</li> <li>・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。</li> </ul> <p>○「書くこと」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「書くこと」において、根拠を明確にししながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。</li> <li>・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。</li> <li>・「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。</li> </ul> <p>○「読むこと」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。</li> <li>・「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。</li> </ul>	<p>○「話すこと・聞くこと」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に集めた材料を整理し、学習の見通しをもって報告しようとしている。</li> <li>・粘り強く表現を工夫し、今までの学習を生かして対話しようとしている。</li> </ul> <p>○「書くこと」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・粘り強く自分の考えが伝わる文章になるように工夫し、学習の見通しをもって説明する文章を書こうとしている。</li> <li>・積極的に表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめ、学習課題に沿って行事の案内の文章を書こうとしている。</li> </ul> <p>○「読むこと」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・粘り強く文章の要旨を把握し、学習の見通しをもって理解したことを報告しようとしている。</li> <li>・進んで登場人物の相互関係などを捉え、学習課題に沿って考えたことをスピーチしようとしている。</li> </ul>
評価基準	十分満足できる……A, おおむね満足できる……B, 努力を要する……C		
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テスト</li> <li>・観察</li> <li>・ノート、ワークシート等提出物</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テスト</li> <li>・観察</li> <li>・スピーチ、プレゼン、暗唱、聞き取りメモ、発表、説明、討論の様子等</li> <li>・ノート、ワークシート提出物等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察</li> <li>・振り返りシート、ノート、ワークシート等提出物</li> </ul>

## 評定について

観点 合計点	9	7～8	5～6	4	3
評定	5	4	3	2	1

## 年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容
1	4	10	詩「朝のルー」 物語文「竜」 話す・聞く
	5	16	説明文「クジラの飲み水」 文法（ことばの単位・文節の関係を学ぶ）
	6	16	漢字（活字と手書き文字・画数・筆順） 物語文「空中ブランコ乗りのキキ」 書写
	7	7	随筆「字のない葉書」 書写
小計		49	
2	8	2	説明文「玄関扉」
	9	18	説明文「玄関扉」 古文「竹取物語」
	10	16	漢文「故事成語—矛盾」（漢文の読み方） 図表「防災に関するデータ」
	11	16	記録「みんなでいるから大丈夫の怖さ」 詩「それだけでいい」 言語（比喩・倒置・反復・対句・体言止め）
	12	8	物語文「トロッコ」
小計		60	
3	1	12	文法（単語の類別・品詞） 漢字
	2	16	説明文「意味と意図」 物語文「少年の日の思い出」
	3	11	書く グループ新聞
小計		39	
合計		148	

## 第2学年／国語科

### 授業内容、授業の進め方

・各領域・事項の系統性をふまえたうえで、身に付けさせる能力の基礎・基本となる学習内容を厳選し、生徒が主体的に取り組むことが出来るように指導の重点化を図っています。

・生徒一人ひとりの学習の習熟度に応じた学習内容の工夫を行います。

・学習目標を明確にして、学習課題に意欲的に取り組んでいきます。

・音読・朗読・暗唱等の言語活動により、読みの理解力を向上させます。

・授業内容をメモしたり、自分の考えをまとめたりするという活動を増やします。

・学習成果を振り返ったり、伝えあったりすることにより、学習内容の定着を図ります。

### 持ち物

・教科書      ・便覧      ・ノート(B5サイズ)      ・筆記用具      ・漢字ノート      ・ファイル

### 評価規準(目標)と評価基準(判断基準), および評価資料

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<p>○「話すこと・聞くこと」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。</li> <li>・情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使っている。</li> <li>・意見と根拠, 具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。</li> </ul> <p>○「書くこと」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意見と根拠, 具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。</li> <li>・本や文章などには, 様々な立場や考え方が書かれていることを知り, 自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。</li> <li>・敬語の働きについて理解し, 話や文章の中で使っている。</li> <li>・類義語と対義語, 同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し, 話や文章の中で使うことを通して, 語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・単語の活用, 助詞や助動詞などの働き, 文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。</li> </ul> <p>○「読むこと」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・抽象的な概念を表す語句の量を増し, 話や文章の中で使うことを通して, 語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・第1学年までに学習した常用漢字に加え, その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。</li> <li>・類義語と対義語, 同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し, 話や文章の中で使うことを通して, 語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使っている。</li> </ul>	<p>○「話すこと・聞くこと」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「話すこと・聞くこと」において, 資料や機器を用いるなどして, 自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。</li> <li>・「話すこと・聞くこと」において, 自分の立場や考えが明確になるように, 根拠の適切さや論理の展開などに注意して, 話の構成を工夫している。</li> </ul> <p>○「書くこと」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「書くこと」において, 表現の工夫とその効果などについて, 読み手からの助言などを踏まえ, 自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。</li> <li>・「書くこと」において, 伝えたいことが分かりやすく伝わるように, 段落相互の関係などを明確にし, 文章の構成や展開を工夫している。</li> <li>・「書くこと」において, 表現の効果を考えて描写するなど, 自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。</li> </ul> <p>○「読むこと」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において, 文章全体と部分との関係に注意しながら, 主張と例示との関係などを捉えている。</li> <li>・「読むこと」において, 文章と図表などを結び付け, その関係を踏まえて内容を解釈している。</li> <li>・「読むこと」において, 登場人物の言動の意味などについて考えて, 内容を解釈している。</li> <li>・「読むこと」において, 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け, 自分の考えを広げたり深めたりしている。</li> <li>・「読むこと」において, 観点を明確にして文章を比較するなどし, 文章の構成や論理の展開, 表現の効果について考えている。</li> </ul>	<p>○「話すこと・聞くこと」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に表現を工夫し, 学習課題に沿って提案しようとしている。</li> <li>・粘り強く自分の考えをまとめ, 今までの学習を生かして議論しようとしている。</li> </ul> <p>○「書くこと」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に自分の文章の改善点を見だし, 学習課題に沿って意見を述べる文章を書こうとしている。</li> <li>・粘り強く文章の構成や展開を工夫し, 学習の見通しをもって手紙を書こうとしている。</li> <li>・進んで表現の効果を考えて描写し, 今までの学習を生かして短歌を創作しようとしている。</li> </ul> <p>○「読むこと」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に内容を解釈し, 学習課題に沿って理解したことを説明しようとしている。</li> <li>・粘り強く登場人物の言動の意味を考え, 学習課題に沿って引用して解説しようとしている。</li> <li>・積極的に文章を比較するなどし, 学習課題に沿って出典を明らかにしながら考えたことを説明しようとしている。</li> </ul>
評価基準	十分満足できる……A, おおむね満足できる……B, 努力を要する……C		
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テスト</li> <li>・観察</li> <li>・ノート, ワークシート等提出物</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テスト</li> <li>・観察</li> <li>・スピーチ, プレゼン, 暗唱, 聞き取りメモ, 発表, 説明, 討論の様子等</li> <li>・ノート, ワークシート提出物等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察</li> <li>・振り返りシート, ノート, ワークシート等提出物</li> </ul>

### 評定について

観点合計点	9	7～8	5～6	4	3
評定	5	4	3	2	1

## 年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容
1	4	8	詩「名づけられた葉」 物語文「セミロングホームルーム」
	5	16	説明文「人間は他の星に住むことができるのか」 書く 手紙・メール
	6	16	短歌「短歌の世界／短歌十首」 書写
	7	6	文法（用言の活用）
小計		46	
2	8	2	報告文「壁に残された伝言」
	9	16	報告文「壁に残された伝言」 漢字「熟語の読み」 評論文「100年後の水を守る」
	10	17	古文「枕草子」「徒然草」 古文「平家物語」（物語の転換点） 漢文「漢詩の世界」
	11	17	解説「自立とは 依存先を増やすこと」 詩「大阿蘇」
	12	10	物語「小さな手袋」 文法（助詞・助動詞）
小計		62	
3	1	12	評論文「動物園でできること」
	2	16	物語文「走れメロス」 書写 文法（1年間のまとめ）
	3	12	話す聞く（地域情報誌 地域の魅力を振り返って） 言語（1年間のまとめ）
小計		40	
合計		148	

## 第3学年／国語科

### 授業内容、授業の進め方

- ・各領域・事項の系統性をふまえたうえで、身に付けさせる能力の基礎・基本となる学習内容を厳選し、生徒が主体的に取り組むことが出来るように指導の重点化を図っています。
- ・生徒一人ひとりの学習の習熟度に応じた学習内容の工夫を行います。
- ・学習目標を明確にして、学習課題に意欲的に取り組んでいきます。
- ・音読・朗読・暗唱等の言語活動により、読みの理解力を向上させます。
- ・授業内容をメモしたり、自分の考えをまとめたりするという活動を増やします。
- ・学習成果を振り返ったり、伝えあったりすることにより、学習内容の定着を図ります。

### 持ち物

・教科書 ・便覧 ・ノート(B5サイズ) ・ファイル ・漢字ノート ・筆記用具

### 評価規準(目標)と評価基準(判断基準), および評価資料

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<p>○「話すこと・聞くこと」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。</li> <li>・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。</li> <li>・情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。</li> </ul> <p>○「書くこと」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。</li> <li>・話や文章の種類とその特徴について理解を深めている。</li> <li>・情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。</li> </ul> <p>○「読むこと」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。</li> <li>・時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。</li> <li>・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。</li> <li>・慣用語や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> </ul>	<p>○「話すこと・聞くこと」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。</li> <li>・「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。</li> <li>・「話すこと・聞くこと」において、進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。</li> </ul> <p>○「書くこと」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。</li> <li>・「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫している。</li> <li>・「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。</li> </ul> <p>○「読むこと」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開の仕方などを捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。</li> <li>・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。</li> </ul>	<p>○「話すこと・聞くこと」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に場の状況に応じて言葉を選び、学習課題に沿って提案しようとしている。</li> <li>・粘り強く論理の展開を考え、今までの学習を生かして議論しようとしている。</li> </ul> <p>○「書くこと」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・粘り強く自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫し、学習課題に沿って批評する文章を書こうとしている。</li> <li>・積極的に文章の種類を選択し、学習の見直しをもって新聞にまとめようとしている。</li> </ul> <p>○「読むこと」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・粘り強く論理の展開の仕方を捉え、学習課題に沿って考えたことについて討論しようとしている。</li> <li>・進んで表現の仕方について評価し、学習課題に沿って批評しようとしている。</li> <li>・進んで文章を批判的に読み、学習課題に沿って読んだ内容について実生活への生かし方を考えようとしている。</li> </ul>
評価基準	十分満足できる……A, おおむね満足できる……B, 努力を要する……C		
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テスト</li> <li>・観察</li> <li>・ノート、ワークシート等提出物</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テスト</li> <li>・観察</li> <li>・スピーチ、プレゼン、暗唱、聞き取りメモ、発表、説明、討論の様子等</li> <li>・ノート、ワークシート提出物等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察</li> <li>・振り返りシート、ノート、ワークシート等提出物</li> </ul>

### 評定について

観点 合計点	9	7～8	5～6	4	3
評定	5	4	3	2	1

## 年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容
1	4	7	詩「岩が」 物語文「握手」 評論文「間の文化」
	5	1 2	グループディスカッション 文法
	6	1 2	俳句 文法（表現につながる文法） 書く 批評文
	7	6	随想「希望」 書写
小計		3 7	
2	8	2	論説文「フロン規制の物語」
	9	1 2	論説文「フロン規制の物語」 話す聞く（パブリックスピーキング） 書写
	10	1 2	和歌「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」 古文「おくのほそ道」 漢文「論語」 漢字（漢字のしくみ）
	11	1 2	論説文「メディア・リテラシー」
	12	6	詩「初恋」 物語文「故郷」 言語（ことばの現在・未来・過去）
小計		4 4	
3	1	9	論説文「文殊の知恵の時代」 物語文「坊ちゃん」
	2	1 2	言語（名言集） 文法（3年間の総まとめ）
	3	3	言語（3年間の総まとめ）
小計		3 0	
合計		1 1 1	

# 第1学年／社会科

## 授業内容、授業の進め方

- 基礎・基本を大切に授業を行います。
- 生徒が主体的に取り組むことができるように指導の重点化を図ります。
- 学習目標を明確にして、学習課題に意欲的に取り組んでいきます。
- 授業内容をメモしたり、自分の考えをまとめたりするという活動を増やします。

## 持ち物

- 教科書
- ファイル
- 筆記用具
- 地図帳 (地理の授業のとき)
- 色鉛筆 (地理の授業のとき)
- 自主学習ノート (B5) 家庭学習の際、必要。授業では使わない。

## 評価規準(目標)と評価基準(判断基準)、および評価資料

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解しているとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	日本や世界の地域に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
	我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
評価基準	十分満足できる……A, おおむね満足できる……B, 努力を要する……C		
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 定期テスト</li> <li>● 小テスト</li> <li>● 問題集</li> <li>● ワークシート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 定期テスト</li> <li>● 小テスト</li> <li>● ワークシート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 授業ノートの記述</li> <li>● ワークシートの記述</li> <li>● 発表や発言の様子</li> </ul>

## 評定について

観点 合計点	9	8～7	6～5	4	3
評定	5	4	3	2	1

## 年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容
1	4	8	【世界と日本の地域構成】 世界の姿
	5	8	【世界と日本の地域構成】 日本の姿 【世界のさまざまな地域】 人々の生活と環境
	6	12	【世界のさまざまな地域】 人々の生活と環境 【世界のさまざまな地域】 世界の諸地域 アジア州
	7	6	【私たちと歴史】 【古代までの日本と世界】 人類の始まりと文明
小計	34		
2	8	3	【古代までの日本と世界】 日本列島の人々と国家の形成
	9	10	【古代までの日本と世界】 日本列島の人々と国家の形成 【古代までの日本と世界】 古代国家の展開
	10	12	【中世の日本と世界】 古代から中世へ 【中世の日本と世界】 鎌倉幕府の成立
	11	12	【中世の日本と世界】 室町幕府と下剋上
	12	7	【世界のさまざまな地域】 世界の諸地域 ヨーロッパ州
小計	44		
3	1	9	【世界のさまざまな地域】 世界の諸地域 アフリカ州 【世界のさまざまな地域】 世界の諸地域 北アメリカ州
	2	12	【世界のさまざまな地域】 世界の諸地域 南アメリカ州 【世界のさまざまな地域】 世界の諸地域 オセアニア州
	3	6	【日本のさまざまな地域】 日本の地域的特色 日本の地形、日本の気候、自然災害
小計	27		
合計	105		

## 第2学年／社会科

### 授業内容、授業の進め方

- 基礎・基本を大切に授業を行います。
- 生徒が主体的に取り組むことができるように指導の重点化を図ります。
- 学習目標を明確にして、学習課題に意欲的に取り組んでいきます。
- 授業内容をメモしたり、自分の考えをまとめたりするという活動を増やします。

### 持ち物

- 教科書
- ファイル
- 筆記用具
- 地図帳（地理の授業のとき）
- 色鉛筆（地理の授業のとき）
- 自主学習ノート（B5）家庭学習の際、必要。授業では使わない。

### 評価規準(目標)と評価基準(判断基準)、および評価資料

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解しているとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	日本や世界の地域に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
	我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
評価基準	十分満足できる……A, おおむね満足できる……B, 努力を要する……C		
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 定期テスト</li> <li>● 小テスト</li> <li>● 問題集</li> <li>● ワークシート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 定期テスト</li> <li>● 小テスト</li> <li>● ワークシート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 授業ノートの記述</li> <li>● ワークシートの記述</li> <li>● 発表や発言の様子</li> </ul>

### 評定について

観点 合計点	9	8～7	6～5	4	3
評定	5	4	3	2	1

## 年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容
1	4	8	【日本のさまざまな地域】 身近な地域の調査
	5	8	【日本のさまざまな地域】 日本の地域的特色
	6	12	【日本のさまざまな地域】 日本の地域的特色 【日本のさまざまな地域】 日本の諸地域 九州地方 【日本のさまざまな地域】 日本の諸地域 中国・四国地方
	7	6	【日本のさまざまな地域】 日本の諸地域 近畿地方
小計		34	
2	8	3	【日本のさまざまな地域】 日本の諸地域 中部地方
	9	10	【日本のさまざまな地域】 日本の諸地域 関東地方 【日本のさまざまな地域】 日本の諸地域 東北地方
	10	12	【日本のさまざまな地域】 日本の諸地域 北海道地方 【地域の在り方】 地域の在り方 【近世の日本と世界】 中世から近世へ
	11	12	【近世の日本と世界】 江戸幕府の成立と東アジア 【近世の日本と世界】 産業の発達と元禄文化 【近世の日本と世界】 幕府政治の改革と農村の変化
	12	7	【日本の近代化】 欧米の発展とアジアの植民地化 【日本の近代化】 近世から近代へ
小計		44	
3	1	9	【日本の近代化】 近代国家へのあゆみ
	2	12	【日本の近代化】 立憲制国家の成立 【日本の近代化】 日清・日露の戦争と東アジアの動き
	3	6	【日本の近代化】 近代の日本の社会と文化
小計		27	
合計		105	

## 第3学年／社会科

### 授業内容、授業の進め方

- 基礎・基本を大切に授業を行います。
- 生徒が主体的に取り組むことができるように指導の重点化を図ります。
- 学習目標を明確にして、学習課題に意欲的に取り組んでいきます。
- 授業内容をメモしたり、自分の考えをまとめたりするという活動を増やします。

### 持ち物

- 教科書
- ノート（B5）
- ファイル
- 筆記用具

### 評価規準(目標)と評価基準(判断基準), および評価資料

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
	個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めているとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめている。	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	現代の社会的事象について、国家及び社会の担い手として、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
評価基準	十分満足できる……A, おおむね満足できる……B, 努力を要する……C		
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 定期テスト</li> <li>● 小テスト</li> <li>● 問題集</li> <li>● ワークシート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 定期テスト</li> <li>● 小テスト</li> <li>● ワークシート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 授業ノートの記述</li> <li>● ワークシートの記述</li> <li>● 発表や発言の様子</li> </ul>

### 評定について

観点 合計点	9	8～7	6～5	4	3
評定	5	4	3	2	1

## 年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容
1	4	11	【二度の世界大戦と日本】 第一次世界大戦と戦後の世界 【二度の世界大戦と日本】 大正デモクラシーの時代 【二度の世界大戦と日本】 第二次世界大戦終結までの日本と世界
	5	12	【現代の日本と世界】 第二次世界大戦後の占領と再建
	6	15	【現代の日本と世界】 経済大国・日本の国際的役割 【現代社会と私たち】 現代社会の特色と私たち
	7	9	【現代社会と私たち】 私たちの生活と文化 【現代社会と私たち】 現代社会の見方や考え方
小計		47	
2	8	4	【個人の尊重と日本国憲法】 人権と日本国憲法
	9	14	【個人の尊重と日本国憲法】 人権と共生社会 【個人の尊重と日本国憲法】 これからの人権保障
	10	16	【現代の民主政治と社会】 現代の民主政治 【現代の民主政治と社会】 国の政治の仕組み 【現代の民主政治と社会】 地方自治と私たち
	11	16	【私たちの暮らしと経済】 消費生活と市場経済 【私たちの暮らしと経済】 生産と労働 【私たちの暮らしと経済】 市場経済の仕組みと金融
	12	10	【私たちの暮らしと経済】 財政と国民の福祉 【私たちの暮らしと経済】 これからの経済と社会
小計		60	
3	1	12	【地球社会と私たち】 国際社会の仕組み 【地球社会と私たち】 さまざまな国際問題 【地球社会と私たち】 これからの地球社会と日本
	2	14	3年間のまとめ、総復習
	3	7	3年間のまとめ、総復習
小計		33	
合計		140	

# 第1学年／数学科

## 授業内容、授業の進め方

- 教材は教科書「未来へひろがる数学1 啓林館」と授業用プリント、演習用問題集「スパイラル式！数学のパターン演習1年 新学社」を用います。
- 教科書の補助教材として、授業用プリントを使用することもあります。また教科書の内容の解説、問題演習の順で授業を展開します。
- 本時の学習目標を明確にし、学習成果を振り返ることで、学習内容の定着を図ります。
- 生徒同士の教え合いや、班活動を通して、主体的、対話的で深い学び合いを目指します。
- 数学科では、復習を大切にしています。復習とは問題を解き、理解を深めることです。解いて終わりではなく、間違えた問題の解答、解説をよく読み、なぜ間違えたか、なぜ解けなかったかを、しっかり考えられるよう取り組んでいきます。

## 持ち物

- 教科書
- 問題集
- ノート（B5サイズ）
- フラットファイル（A4サイズ）
- 筆記用具
- 定規
- コンパス

## 評価規準(目標)と評価基準(判断基準), および評価資料

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	正の数と負の数、文字を用いた式と一元一次方程式、平面図形と空間図形、比例と反比例、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力、数量の変化や対応に着目して関数関係を見だし、その特徴を表、式、グラフなどで考察する力、データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。	数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度、多面的に捉え考えようとする態度を養う。
評価基準	十分満足できる……A, おおむね満足できる……B, 努力を要する……C		
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>● テスト（小テスト含む）</li> <li>● 授業のノート</li> <li>● 問題集</li> <li>● 宿題プリント</li> <li>● 授業の観察</li> <li>● その他の課題などの提出状況と内容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● テスト（小テスト含む）</li> <li>● 授業のノート</li> <li>● 問題集</li> <li>● 宿題プリント</li> <li>● 授業の観察</li> <li>● その他の課題などの提出状況と内容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 問題集</li> <li>● 宿題プリント</li> <li>● 授業のノート</li> <li>● 授業の観察</li> <li>● 振り返りシート等の提出状況と内容</li> </ul>

## 評定について

観点 合計点	9	7～8	5～6	4	3
評定	5	4	3	2	1

年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容 (章)	単元, 学習内容 (節)			
1	4	7	1 正の数・負の数	1 正の数・負の数			
		20		2 正の数・負の数の計算			
				3 正の数・負の数の利用			
		3		章末問題			
	7	10		2 文字の式	1 文字を使った式		
		8			2 文字式の計算		
					小計		50
					2	8	2 文字の式
章末問題							
10	8	3 方程式	1 方程式				
			2 方程式の利用				
			章末問題				
	11	9	4 変化と対応	1 関数			
				2 比例			
				3 反比例			
		5		4 比例と反比例の利用			
				2	章末問題		
				12	6	5 平面図形	1 直線と図形
	2 移動と作図						
	5	小計			60		
	3	1	5 平面図形	2 移動と作図			
3 円とおうぎ形							
章末問題							
2		11	6 空間図形	1 立体と空間図形			
	2 立体の体積と表面積						
	3	7	7 データの活用	章末問題			
				1 ヒストグラムと相対度数			
				2 データにもとづく確率			
				2 章末問題			
小計		38	合計		148		

## 第2学年／数学科

### 授業内容、授業の進め方

- 教材は教科書「未来へひろがる数学2 啓林館」と授業用プリント、演習用問題集「スパイラル式！ 数学のパターン演習2年 新学社」を用います。
- 教科書の補助教材として、授業用プリントを使用することもあります。また教科書の内容の解説、問題演習の順で授業を展開します。
- 本時の学習目標を明確にし、学習成果を振り返ることで、学習内容の定着を図ります。
- 生徒同士の教え合いや、班活動を通して、主体的、対話的で深い学び合いを目指します。
- 数学科では、復習を大切にしています。復習とは問題を解き、理解を深めることです。解いて終わりではなく、間違えた問題の解答、解説をよく読み、なぜ間違えたか、なぜ解けなかったかを、しっかり考えられるよう取り組んでいきます。

### 持ち物

- 教科書
- 問題集
- ノート（B5サイズ）
- フラットファイル（A4サイズ）
- 筆記用具
- 定規
- コンパス

### 評価規準(目標)と評価基準(判断基準), および評価資料

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	文字を用いた式と連立二元一次方程式、平面図形と数学的な推論、一次関数、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数値化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力、数学的な推論の過程に着目し、図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を養う。
評価基準	十分満足できる……A, おおむね満足できる……B, 努力を要する……C		
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>● テスト（小テスト含む）</li> <li>● 授業のノート</li> <li>● 問題集</li> <li>● 宿題プリント</li> <li>● 授業の観察</li> <li>● その他の課題などの提出状況と内容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● テスト（小テスト含む）</li> <li>● 授業のノート</li> <li>● 問題集</li> <li>● 宿題プリント</li> <li>● 授業の観察</li> <li>● その他の課題などの提出状況と内容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 問題集</li> <li>● 宿題プリント</li> <li>● 授業のノート</li> <li>● 授業の観察</li> <li>● 振り返りシート等の提出状況と内容</li> </ul>

### 評定について

観点 合計点	9	7～8	5～6	4	3
評定	5	4	3	2	1

## 年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容		
			章	節	
1	4	9	1 式の計算	1 式の計算	
				2 文字式の利用	
				章末問題	
	6	9	2 連立方程式	1 連立方程式	
				2 連立方程式の利用	
	7	5	2	章末問題	
2				3 一次関数	1 一次関数とグラフ
		小計	35		
2	8	3	3 一次関数	1 一次関数とグラフ	
				9	5
	3 一次関数の利用				
	章末問題				
	10	6	4 図形の調べ方		
				2 証明	
	11	10	6	章末問題	
				12	6
	2	2	6		
				6	6
小計	45				
3	1	3	5 図形の性質と証明	1 三角形	
				2 四角形	
				章末問題	
	2	2	7	6 場合の数と確率	1 場合の数と確率
				章末問題	
	3	1	6	7 箱ひげ図とデータの活用	1 箱ひげ図
					章末問題
小計	32				
合計	112				

## 第3学年／数学科

### 授業内容、授業の進め方

- 教材は教科書「未来へひろがる数学3 啓林館」と授業用プリント、演習用問題集「スパイラル式！数学のパターン演習3年 新学社」と「3年間の総整理 問題集 正進社」を用います。
- 教科書の補助教材として、授業用プリントを使用することもあります。また教科書の内容の解説、問題演習の順で授業を展開します。
- 本時の学習目標を明確にし、学習成果を振り返ることで、学習内容の定着を図ります。
- 生徒同士の教え合いや、班活動を通して、主体的、対話的で深い学び合いを目指します。
- 数学科では、復習を大切にしています。復習とは問題を解き、理解を深めることです。解いて終わりではなく、間違えた問題の解答、解説をよく読み、なぜ間違えたか、なぜ解けなかったかを、しっかり考えられるよう取り組んでいきます。

### 持ち物

- 教科書
- 問題集
- ノート（B5サイズ）
- フラットファイル（A4サイズ）
- 筆記用具
- 定規
- コンパス

### 評価規準(目標)と評価基準(判断基準)、および評価資料

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	数の平方根，多項式と二次方程式，図形の相似，円周角と中心角の関係，三平方の定理，関数 $y = ax^2$ ，標本調査などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに，事象を数値化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲に着目し，数の性質や計算について考察したり，文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力，図形の構成要素の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，関数関係に着目し，その特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，標本と母集団の関係に着目し，母集団の傾向を推定し判断したり，調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を養う。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え，数学を生活や学習に生かそうとする態度，問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度，多様な考えを認め，よりよく問題解決しようとする態度を養う。
評価基準	十分満足できる……A，おおむね満足できる……B，努力を要する……C		
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>● テスト（小テスト含む）</li> <li>● 授業のノート</li> <li>● 問題集</li> <li>● 宿題プリント</li> <li>● 授業の観察</li> <li>● その他の課題などの提出状況と内容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● テスト（小テスト含む）</li> <li>● 授業のノート</li> <li>● 問題集</li> <li>● 宿題プリント</li> <li>● 授業の観察</li> <li>● その他の課題などの提出状況と内容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 問題集</li> <li>● 宿題プリント</li> <li>● 授業のノート</li> <li>● 授業の観察</li> <li>● 振り返りシート等の提出状況と内容</li> </ul>

### 評定について

観点 合計点	9	7～8	5～6	4	3
評定	5	4	3	2	1

年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容 (章)	単元, 学習内容 (節)
1	4	14	1 式の展開と因数分解	1 式の展開と因数分解
				2 式の計算の利用
	5	3	2 平方根	章末問題
		2		1 平方根
	6	6	3 二次方程式	2 根号をふくむ式の計算
		8		3 平方根の利用
	6	1	3 二次方程式	章末問題
		2		1 二次方程式
	7	10	3 二次方程式	2 二次方程式の利用
		4		
小計		50		
2	8	1	3 二次方程式	2 二次方程式の利用
		2		章末問題
	9	6	4 関数 $y = ax^2$	1 関数とグラフ
		3		2 関数 $y = ax^2$ の値の変化
	10	3	5 図形と相似	3 いろいろな事象と関数
		3		章末問題
	11	2	6 円の性質	1 図形と相似
		8		2 平行線と線分の比
	12	3	7 三平方の定理	3 相似な図形の計量
		2		3 相似の利用
	1	5	7 三平方の定理	章末問題
		3		1 円周角と中心角
	2	2	8 標本調査とデータの活用	2 円の性質の利用
		5		章末問題
3	1	8 標本調査とデータの活用	1 直角三角形の3辺の関係	
	2		2 三平方の定理の利用	
小計		60		
3	1	1	7 三平方の定理	2 三平方の定理の利用
		2		章末問題
2	3	5	8 標本調査とデータの活用	1 標本調査
		1		章末問題
3	3	10	3 年間のまとめ	
		19	入試対策	
小計		38		
合計		148		

# 第 1 学年 / 理科

## 授業内容、授業の進め方

- 教室での座学で様々な現象の「見方・考え方」を学習する。
- 「見方・考え方」を働かせながら班で実験・観察を行い、「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」につなげる。
- 実験後のレポート等で、学習した内容を日常的な現象に置き換え、生徒自身に「疑問」を持たし、その疑問を解決するために様々な知識をアウトプットし、その知識同士を結び合わせることで解決し、「探究」する力を育てる。

## 持ち物

- 教科書
- ノート
- 理科の自主学習

## 評価規準(目標)と評価基準(判断基準), および評価資料

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、生物の観察と分類のしかたについて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。</li> <li>・気体を発生させてその性質を調べる実験を通して、気体の種類による特性を理解するとともに、気体を発生させる方法や捕集法などの技能を身につける。</li> <li>・水溶液から溶質をとり出す実験を通して、その結果を溶解度と関連づけて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。</li> <li>・光についての観察、実験を通して、光が水やガラスなどの物質の境界面で反射、屈折するときの規則性や、凸レンズのはたらきについての実験から、物質の位置と像の位置および像の大きさの関係を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。</li> <li>・音についての観察、実験を通して、音は物体が振動することによって生じ空気中などを伝わることや、音の高さや大きさは発音体の振動に関係することを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。</li> <li>・物体に力をはたらかせる観察、実験を行い、物体に力がはたらくとその物体が変形したり動き始めたり、運動のようすが変わったりすることや、力は大きさと向きによって表されること、物体にはたらく2力のつり合う条件を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。</li> <li>・大地のなり立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら、火山活動と火成岩、自然のめぐみと火山災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、それらの観察・実験の技能を身につける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な生物についての観察、実験などを通して、いろいろな生物の共通点や相違点を見いだすとともに、生物を分類するための観点や基準を見いだして表現する。</li> <li>・身のまわりの物質について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質における規則性を見いだして表現する。</li> <li>・光について問題点を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、光の性質の規則性や関係性を見いだして表現する。</li> <li>・音について問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、音の性質の規則性や関係性を見いだして表現する。</li> <li>・力について問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、力のはたらきの規則性や関係性を見いだして表現する。</li> <li>・火山、自然のめぐみと火山災害について、問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、地下のマグマの性質と火山の形との関係性、自然のめぐみや火山災害の火山活動のしくみとの関係性などを見いだし表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物の観察と分類のしかたに関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。</li> <li>・物質のすがたに関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的にみることができるようになる。</li> <li>・光に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的にみることができるようになる。</li> <li>・音に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的にみることができるようになる。</li> <li>・力のはたらきに関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的にみることができるようになる。</li> <li>・火山、自然のめぐみと火山災害に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。</li> </ul>
評価基準	十分満足できる……A, おおむね満足できる……B, 努力を要する……C		
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 定期テスト</li> <li>● 小テスト</li> <li>● 実験・観察・レポートなど</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 定期テスト</li> <li>● 小テスト</li> <li>● 実験・観察・レポートなど</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 提出物</li> <li>● 授業中の発言、取り組み姿勢など</li> <li>● 実験・観察・レポートなど</li> </ul>

## 評定について

観点 合計点	12~11	10~9	8~6	5	4
評定	5	4	3	2	1

## 年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容
1	4	8	自然の中にあふれる生命 【エネルギー】光・音・力による現象 1章 光による現象
	5	10	【生命】いろいろな生物とその共通点 1章 植物の特徴と分類
	6	12	
	7	6	2章 動物の特徴と分類
小計		36	
2	8	2	【物質】身のまわりの物質 1章 いろいろな物質とその性質 2章 音による現象
	9	11	
	10	13	2章 いろいろな気体とその性質
	11	13	3章 水溶液の性質 3章 力による現象
	12	7	4章 物質のすがたとその変化
小計		46	
3	1	10	【地球】活きている地球 1章 身近な大地
	2	12	2章 ゆれる大地 【地球】活きている地球 3章 火をふく大地
	3	6	4章 語る大地
小計		28	
合計		110	

## 第2学年／理科

### 授業内容、授業の進め方

- 教室での座学で様々な現象の「見方・考え方」を学習する。
- 「見方・考え方」を働かせながら班で実験・観察を行い、「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」につなげる。
- 実験後のレポート等で、学習した内容を日常的な現象に置き換え、生徒自身に「疑問」を持たし、その疑問を解決するために様々な知識をアウトプットし、その知識同士を結び合わせることで解決し、「探究」する力を育てる。

### 持ち物

- 教科書
- ノート
- 理科の自主学習

### 評価規準(目標)と評価基準(判断基準), および評価資料

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化学変化を原子や分子のモデルと関連付けながら物質の分解や原子・分子・酸か還元・化学変化と熱・質量変化の規則性について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。</li> <li>・生物の体のつくりと働きとの関係に着目しながら生物のつくりの特徴について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。</li> <li>・気象要素と天気の変化との関係に注目しながら気象観測・霧や雲の発生・前線・日本の天気について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。</li> <li>・電流に関する事象・事象を日常生活や社会と関連付けながら回路と電流・電圧・抵抗・エネルギー・静電気・放射線・磁界・電磁誘導・発電について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物質の成り立ち・化学変化・化学変化と部屋の質量について見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、はたらきについての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。</li> <li>・生物の体とつくりとはたらきについて見通しをもって観察、実験などを行い、はたらきについての規則性や関係性を見いだして表現する。</li> <li>・気象観測・霧や雲の発生・前線の通過と天気の変化・日本の気象・自然の恵みと気象災害についての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。</li> <li>・電流・静電気や電子・電流と磁界に関する現象について観察、実験などを行い、はたらきについての規則性や関係性を見いだして表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物質の成り立ち・化学変化・化学変化と物質の質量に関する事象・現象に進んで関わり見通しを持ったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</li> <li>・生物の体のつくりと働き・生命を維持する働き・刺激と反応に関する事象・現象に進んで関わり見通しを持ったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</li> <li>・気象観測・霧や雲の発生・前線の通過と天気の変化・日本の気象・自然の恵みと気象災害に関する事象・現象に進んで関わり見通しを持ったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</li> <li>・電流・静電気や電子・電流と磁界に関する現象に関する事象・現象に進んで関わり見通しを持ったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</li> </ul>
評価基準	十分満足できる……A, おおむね満足できる……B, 努力を要する……C		
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 定期テスト</li> <li>● 小テスト</li> <li>● 実験・観察・レポートなど</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 定期テスト</li> <li>● 小テスト</li> <li>● 実験・観察・レポートなど</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 提出物</li> <li>● 授業中の発言、取り組み姿勢など</li> <li>● 実験・観察・レポートなど</li> </ul>

### 評定について

観点 合計点	12～11	10～9	8～6	5	4
評定	5	4	3	2	1

## 年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容
1	4	11	【生命】生物の体のつくりとはたらき 1章 生物の体をつくるもの 2章 植物の体のつくりとはたらき
	5	13	3章 動物の体のつくりとはたらき 4章 動物の行動のしくみ
	6	16	【物質】化学変化と原子・分子 1章 物質の成り立ち
	7	8	2章 物質の表し方
小計		48	
2	8	3	3章 さまざまな化学変化
	9	15	4章 化学変化と物質の質量
	10	16	【地球】地球の大気と天気の変化 1章 地球を取り巻く大気の様子
	11	16	2章 大気中の水の変化 3章 天気の変化と大気の動き
	12	10	4章 大気の動きと日本の四季
小計		60	
3	1	12	【エネルギー】電流とその利用 1章 電流の性質
	2	15	2章 電流の正体
	3	8	3章 電流と磁界
小計		35	
合計			

## 第3学年／理科

### 授業内容、授業の進め方

- 教室での座学で様々な現象の「見方・考え方」を学習する。
- 「見方・考え方」を働かせながら班で実験・観察を行い、「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」につなげる。
- 実験後のレポート等で、学習した内容を日常的な現象に置き換え、生徒自身に「疑問」を持たし、その疑問を解決するために様々な知識をアウトプットし、その知識同士を結び合わせることで解決し、「探究」する力を育てる。

### 持ち物

- 教科書
- ノート
- 理科の自主学習

### 評価規準(目標)と評価基準(判断基準), および評価資料

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 物体の運動とエネルギーを日常生活や社会と関連付けながら、力のつり合いと合成・分解、運動の規則性、力学的エネルギー、エネルギーを理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。</li> <li>● 生命の連続性に関する事物・現象の特徴に着目しながら、生物の成長とふえ方、遺伝の規則性と遺伝子、生物の種類の多様性と進化を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。</li> <li>● 日常生活や社会と関連付けながら、自然界のつり合いについて理解するとともに、微生物の働きなどを調べる観察、実験などに関する技能を身に付けている。</li> <li>● 化学変化をイオンのモデルと関連付けながら、水溶液とイオン、化学変化と電池を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。</li> <li>● 身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、天体の動きと地球の自転・公転、太陽系と恒星を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。</li> <li>● 日常生活や社会と関連付けながら、生物と環境、エネルギーと物質、自然環境の保全と科学技術の利用を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 運動とエネルギーについて、見通しをもって観察、実験を行い、その結果を分析して解釈し、力のつり合い、合成や分解、物体の運動、力学的エネルギー、エネルギーの規則性や関係性を見いだして表現している。また、探究の過程を振り返っている。</li> <li>● 生命の連続性について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物の成長とふえ方、遺伝現象、生物の種類の多様性と進化についての特徴や規則性を見いだして表現している。また、探究の過程を振り返っている。</li> <li>● 身近な自然界のつながりなどを調べる観察、実験などを行い、自然界のつり合いについて、科学的に考察して判断している。</li> <li>● 化学変化について、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連付けてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現している。また、探究の過程を振り返っている。</li> <li>● 地球と宇宙について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、天体の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現している。また、探究の過程を振り返っている。</li> <li>● 身近な自然環境や地域の自然災害などを調べる観察、実験などを行い、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について、科学的に考察して判断している。</li> <li>● 日常生活や社会で使われているエネルギーや物質について、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈するとともに、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について、科学的に考察して判断している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 運動とエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</li> <li>● 生命の連続性に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</li> <li>● 自然と人間に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</li> <li>● 化学変化とイオンに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</li> <li>● 地球と宇宙に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</li> <li>● 自然と人間に関する事物・現象、科学技術と人間に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</li> </ul>
評価基準	十分満足できる……A, おおむね満足できる……B, 努力を要する……C		
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 定期テスト</li> <li>● 小テスト</li> <li>● 実験・観察・レポートなど</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 定期テスト</li> <li>● 小テスト</li> <li>● 実験・観察・レポートなど</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 提出物</li> <li>● 授業中の発言、取り組み姿勢など</li> <li>● 実験・観察・レポートなど</li> </ul>

### 評定について

観点 合計点	12～11	10～9	8～6	5	4
評定	5	4	3	2	1

## 年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容
1	4	11	【物質】化学変化とイオン 1章 水溶液とイオン
	5	13	2章 電池とイオン
	6	16	【生命】生命の連続性 1章 生物のふえ方と成長 2章 遺伝の規則性と遺伝子
	7	8	3章 生物の種類の多様性と進化
小計		48	
2	8	3	【物質】化学変化とイオン 3章 酸・アルカリと塩
	9	15	【エネルギー】運動とエネルギー 1章 力の合成と分解
	10	16	【エネルギー】運動とエネルギー 1章 力の合成と分解 2章 物体の運動
	11	16	【エネルギー】運動とエネルギー 3章 仕事とエネルギー 4章 多様なエネルギーとその移り変わり
	12	10	【エネルギー】運動とエネルギー 5章 エネルギー資源とその利用 【地球】宇宙を観る 1章 地球から宇宙へ
小計		60	
3	1	12	【地球】宇宙を観る 2章 太陽と恒星の動き 3章 月と金星の動きと見え方
	2	15	【地球】宇宙を観る 3章 月と金星の動きと見え方 【環境】自然と人間 1章 自然界のつり合い 2章 さまざまな物質の利用と人間 3章 科学技術の発展 4章 人間と環境
	3	8	【環境】自然と人間 4章 人間と環境 5章 持続可能な社会をめざして
小計		35	
合計		143	

# 第 1 学年 / 音楽科

## 授業内容、授業の進め方

- 教材は教科書「中学生の音楽 1 教育芸術社」、「中学生の器楽 教育芸術社」と授業用プリントとアルトリコーダーを用います。
- 学習目標を明確にし、学習成果を振り返ることで、学習内容の定着を図ります。
- 音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けていきます。
- 音楽を自分なりに評価しながら、言葉で説明したり、グループで批評したりする活動を行い、そのよさや美しさを味わって聴く力を育てます。

## 持ち物

- ・筆記用具
- ・中学生の音楽 1
- ・中学生の器楽
- ・ファイル
- ・アルトリコーダー
- ・ガーゼ
- ・体育館シューズ

## 評価規準(目標)と評価基準(判断基準), および評価資料

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<p>曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱・器楽・創作の技能を身に付けるようにする。</p>	<p>音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p>	<p>主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組む、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>
	<p>・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。</p> <p>・声や楽器の音色や響き、及び言葉の特性と曲種に応じた発声や奏法との関わりについて理解している。</p> <p>・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。</p> <p>・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付けている。</p> <p>・音のつながり方の特徴について理解して、音素材の特徴及び音の重なり方や反復・変化、対照などの構成上の特徴について理解している。</p> <p>・創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けている。</p> <p>・曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。</p> <p>・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。</p> <p>・我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。</p>	<p>・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱、器楽、創作表現を創意工夫している。</p> <p>・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p> <p>・生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p> <p>・音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p>	<p>・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
評価基準	十分満足できる……A, おおむね満足できる……B, 努力を要する……C		

評価方法	・定期テスト ・実技テスト ・提出物 ・観察	・定期テスト ・実技テスト ・提出物 ・観察	・定期テスト ・レポート ・観察
------	---------------------------------	---------------------------------	------------------------

## 評定について

観点 合計点	9	7～8	5～6	4	3
評定	5	4	3	2	1

## 年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容
1	4	3	拍の流れにのって明るい声で歌おう。 曲の構成を感じ取って演奏しよう。「校歌」「主人は冷たい土の中に」「Forever」
	5	4	ソネットを手がかりに、曲想の変化を感じとろう 鑑賞「春 第一楽章」 リコーダーを演奏しよう。
	6	3	情景を思い浮かべながら、表情豊かに歌おう。「浜辺の歌」 リコーダーを演奏しよう。
	7	2	仲間と一緒に、曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう。合唱コンクール課題曲、自由曲 構成を工夫して音楽を作ろう。
小計		12	
2	8	2	仲間と一緒に、曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう。合唱コンクール課題曲、自由曲
	9	4	仲間と一緒に、曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう。合唱コンクール課題曲、自由曲
	10	4	仲間と一緒に、曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう。合唱コンクール課題曲、自由曲
	11	4	情景を思い浮かべながら、思いをこめて歌おう。「赤とんぼ」 詩の内容と曲想との関わりを感じとろう。「魔王」
	12	3	仲間と一緒に、曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう。「君のをせて」
小計		15	
3	1	8	日本の伝統音楽に親しみ、その良さを味わおう。～尺八、箏～ 箏を演奏しよう。 日本に古くから伝わる箏の音楽を聴こう。箏曲「六段の調」
	2	4	構成を工夫して音楽を作ろう。 リコーダーを演奏しよう。
	3	4	仲間と一緒に、曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう。
小計		16	
合計		45	

## 第2学年／音楽科

### 授業内容、授業の進め方

- 教材は教科書「中学生の音楽2・3 上 教育芸術社」、「中学生の器楽 教育芸術社」と授業用プリントとアルトリコーダーを用います。
- 学習目標を明確にし、学習成果を振り返ることで、学習内容の定着を図ります。
- 音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けていきます。
- 音楽を自分なりに評価しながら、言葉で説明したり、グループで批評したりする活動を行い、そのよさや美しさを味わって聴く力を育てます。

### 持ち物

- ・筆記用具
- ・中学生の音楽2・3上
- ・中学生の器楽
- ・ファイル
- ・アルトリコーダー
- ・ガーゼ
- ・体育館シューズ

### 評価規準(目標)と評価基準(判断基準), および評価資料

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱・器楽・創作の技能を身に付けるようにする。	曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組む、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。</li> <li>・声や楽器の音色や響き及び言葉の特性、奏法と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。</li> <li>・創意工夫を生かした表現で歌ったり、演奏するために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方、奏法などの技能を身に付けている。</li> <li>・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部などを聴きながら他者と合わせて歌唱、演奏技能を身に付けている。</li> <li>・音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴について理解している。</li> <li>・音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について理解している。</li> <li>・創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けている。</li> <li>・曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。</li> <li>・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。</li> <li>・我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱、器楽、創作表現を創意工夫している。</li> <li>・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</li> <li>・生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</li> <li>・音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>
評価基準	十分満足できる……A, おおむね満足できる……B, 努力を要する……C		

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・実技テスト</li> <li>・提出物</li> <li>・観察</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・実技テスト</li> <li>・提出物</li> <li>・観察</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出物</li> <li>・授業、実技テストなどへの取り組み</li> <li>・ワークシートの記述</li> </ul>
------	---	---	---

## 評定について

観点 合計点	9	7~8	5~6	4	3
評定	5	4	3	2	1

## 年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容
1	4	3	曲想を感じ取り、パートの役割を理解して合唱しよう。「翼をください」 歌詞の内容や曲想を感じ取り、拍の流れにのって合唱しよう。「夢の世界を」 リコーダー演奏しよう。
	5	4	旋律が追いかけるように重なり合っていく面白さを味わおう。「フーガ短調」 リコーダーを演奏しよう。
	6	3	情景を思い浮かべながら、言葉を大切に歌おう。「夏の思い出」 創作をしよう。
	7	2	仲間と一緒に、曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう。合唱コンクール課題曲、自由曲 指揮をしてみよう。
小計		12	
2	8	1	仲間と一緒に、曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう。合唱コンクール課題曲、自由曲
	9	4	仲間と一緒に、曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう。合唱コンクール課題曲、自由曲
	10	3	仲間と一緒に、曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう。合唱コンクール課題曲、自由曲
	11	3	曲の構成に注目して曲想の変化を味わおう。「交響曲第5番 八短調」 リコーダーを演奏しよう。
	12	2	仲間と一緒に、曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう。 ギターを演奏しよう。
小計		13	
3	1	4	日本の伝統芸能に親しみ、その良さを味わおう。「勸進帳」 リコーダーを演奏しよう。
	2	3	仲間と一緒に、曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう。
	3	3	仲間と一緒に、曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう。 創作をしよう。
小計		10	
合計		35	

## 第3学年／音楽科

### 授業内容、授業の進め方

- 教材は教科書「中学生の音楽2・3下 教育芸術社」、「中学生の器楽 教育芸術社」と授業用プリントとアルトリコーダーを 사용합니다。
- 学習目標を明確にし、学習成果を振り返ることで、学習内容の定着を図ります。
- 音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けていきます。
- 音楽を自分なりに評価しながら、言葉で説明したり、グループで批評したりする活動を行い、そのよさや美しさを味わって聴く力を育てます。

### 持ち物

- ・筆記用具
- ・中学生の音楽2・3下
- ・中学生の器楽
- ・ファイル
- ・アルトリコーダー
- ・ガーゼ
- ・体育館シューズ

### 評価規準(目標)と評価基準(判断基準), および評価資料

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<p>曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱・器楽・創作の技能を身に付けるようにする。</p>	<p>曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p>	<p>主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組む、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。</p>
	<p>・曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。</p> <p>・声や楽器の音色や響き及び言葉の特性、奏法と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。</p> <p>・創意工夫を生かした表現で歌ったり、演奏するために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方、奏法などの技能を身に付けている。</p> <p>・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部などを聴きながら他者と合わせて歌唱、演奏技能を身に付けている。</p> <p>・音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴について理解している。</p> <p>・音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について理解している。</p> <p>・創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けている。</p> <p>・曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。</p> <p>・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。</p> <p>・我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。</p>	<p>・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱、器楽、創作表現を創意工夫している。</p> <p>・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p> <p>・生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p> <p>・音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p>	<p>・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
評価基準	十分満足できる……A, おおむね満足できる……B, 努力を要する……C		

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・実技テスト</li> <li>・提出物</li> <li>・観察</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・実技テスト</li> <li>・提出物</li> <li>・観察</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出物</li> <li>・授業、実技テストなどへの取り組み</li> <li>・ワークシートの記述</li> </ul>
------	---	---	---

## 評定について

観点 合計点	9	7~8	5~6	4	3
評定	5	4	3	2	1

## 年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容
1	4	3	日本の歌の良さや美しさを味わい、表現を工夫しよう「花」 リコーダーを演奏しよう。
	5	4	音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう。「ブルタバ」 リコーダーを演奏しよう。
	6	3	仲間と一緒に、曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう。合唱コンクール課題曲、自由曲 リコーダーを演奏しよう。
	7	2	仲間と一緒に、曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう。合唱コンクール課題曲、自由曲
小計		12	
2	8	1	仲間と一緒に、曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう。合唱コンクール課題曲、自由曲
	9	4	仲間と一緒に、曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう。合唱コンクール課題曲、自由曲
	10	3	仲間と一緒に、曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう。合唱コンクール課題曲、自由曲 ギターを演奏しよう。
	11	3	曲の良さをプレゼンテーションしよう。「ボレロ」
	12	3	ポピュラー音楽を聴いて、そのよさを味わおう。 ギターを演奏しよう。
小計		14	
3	1	3	能に親しみ、その音楽を味わおう。 リコーダーを演奏しよう。
	2	3	仲間と一緒に、曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう。式歌
	3	3	仲間と一緒に、曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう。式歌
小計		9	
合計		35	

# 第1学年／美術科

## 授業内容、授業の進め方

- 各領域・事項の系統性を踏まえたうえで、創造活動の喜びを味わい身に付けさせる基礎・基本となる学習を厳選し、生徒が主体的に取り組むことができるように指導の重点を図っています。
- 生徒一人ひとりの学習の習熟度に応じた学習内容の工夫を行います。
- 学習目標を明確にして、学習課題に意欲的に取り組んでいきます
- 学習成果を振り返ったり、鑑賞したりすることにより、学習内容の定着を図ります。

## 持ち物

- 教科書
- 美術資料
- ファイル
- 絵具
- 雑巾
- 鉛筆・筆記具
- 色鉛筆
- 彫刻刀

## 評価規準(目標)と評価基準(判断基準), および評価資料

観点	知識及び技能	思考力、判断力、表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	●目標 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表している。	●目標 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げようとしている。	●目標 楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養おうとしている。
	●評価規準 ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・意図に応じて表現方法を工夫して表している。	●評価規準 ・自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げようとしている。	●評価規準 ・美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく表現及び、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価基準	十分満足できる……A, おおむね満足できる……B, 努力を要する……C		
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>●発言や発表の内容</li> <li>●ワークシートの内容</li> <li>●アイデアスケッチの内容</li> <li>●制作途中の作品</li> <li>●完成作品</li> <li>●定期テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●発言や発表の内容</li> <li>●制作活動の様子</li> <li>●ワークシートの内容</li> <li>●アイデアスケッチの内容</li> <li>●制作途中の作品</li> <li>●完成作品</li> <li>●定期テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●発言や発表の内容</li> <li>●グループワークでの様子</li> <li>●ワークシートの内容</li> <li>●アイデアスケッチの内容</li> <li>●提出物、発表、鑑賞などの内容</li> </ul>

## 評定について

観点合計点	9	7～8	5～6	4	3
評定	5	4	3	2	1

## 年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容
1	4	1	【オリエンテーション】美術との出会い
		1	【デ・工】広がる模様の世界
		1	【デ・工】わくわくコミュニケーション
	5	1 2	【資料】鉛筆で描く 【絵・彫】スケッチ
6	2 2	【資料】色についての学習 【資料】【デ・工】絵の具の使い方	
	7	2	【デ・工】色面構成
小計		12	
2	8	1 1	【2学期の学習】鑑賞 【デ・工】色面構成
		9	2 2 3
	10	1 5	【資料】彫刻技法 【絵・彫】木工棚の装飾
	11	6	【絵・彫】木工棚の装飾
	12	2	【鑑賞】鑑賞・まとめ
小計		23	
3	1	1 2	【3学期の学習】鑑賞 【資料】【絵・彫】構図と遠近法
		2	4
	3	2 1	【絵・彫】立体造形 【鑑賞】鑑賞・まとめ
小計		10	
合計		45	

## 第2学年／美術科

### 授業内容、授業の進め方

- 各領域・事項の系統性を踏まえたうえで、創造活動の喜びを味わい身に付けさせる基礎・基本となる学習を厳選し、生徒が主体的に取り組むことができるように指導の重点を図っています。
- 生徒一人ひとりの学習の習熟度に応じた学習内容の工夫を行います。
- 学習目標を明確にして、学習課題に意欲的に取り組んでいきます
- 学習成果を振り返ったり、鑑賞したりすることにより、学習内容の定着を図ります。

### 持ち物

- 教科書
- 美術資料
- ファイル
- 絵具
- 雑巾
- 鉛筆・筆記具
- 色鉛筆
- 彫刻刀

### 評価規準(目標)と評価基準(判断基準), および評価資料

観点	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>●目標</li> </ul> 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●目標</li> </ul> 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●目標</li> </ul> 主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養おうとしている。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●評価規準</li> </ul> ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●評価規準</li> </ul> ・自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●評価規準</li> </ul> ・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現及び、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価基準	十分満足できる……A, おおむね満足できる……B, 努力を要する……C		
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>●発言や発表の内容</li> <li>●ワークシートの内容</li> <li>●アイデアスケッチの内容</li> <li>●制作途中の作品</li> <li>●完成作品</li> <li>●定期テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●発言や発表の内容</li> <li>●制作活動の様子</li> <li>●ワークシートの内容</li> <li>●アイデアスケッチの内容</li> <li>●制作途中の作品</li> <li>●完成作品</li> <li>●定期テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●発言や発表の内容</li> <li>●グループワークでの様子</li> <li>●ワークシートの内容</li> <li>●アイデアスケッチの内容</li> <li>●提出物、発表、鑑賞などの内容</li> </ul>

### 評定について

観点合計点	9	7～8	5～6	4	3
評定	5	4	3	2	1

## 年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容
1	4	1	【オリエンテーション】 学びの実感と広がり
		2	【デ・工】 資料]情報をわかりやすく伝えよう・豊かなイメージで伝えよう
	5	3	【デ・工】 空間に光を飾ろう
	6	4	【デ・工】 ステンドグラス風で表す空想の世界
	7	2	【鑑賞】 鑑賞・まとめ 【絵・彫】 夏休み宿題
小計		12	
2	8	1	【2学期の学習】 鑑賞・東へ西へ・・・、現代に受けつがれる浮世絵版画
	9	4	【デ・工】 アニマルライトのデザイン
	10	4	【絵・彫】アニマルライト制作
	11	4	【絵・彫】アニマルライト制作
	12	2	【鑑賞】 鑑賞・まとめ
小計		15	
3	1	3	【3学期の学習】 【絵・彫】 墨が生み出す豊かな世界・水墨画の技法・日本美術の展開と世界の交流
		3	【絵・彫】 水墨画
	3	2	【鑑賞】 鑑賞・まとめ
小計		8	
合計		35	

## 第3学年／美術科

### 授業内容、授業の進め方

- 各領域・事項の系統性を踏まえたうえで、創造活動の喜びを味わい身に付けさせる基礎・基本となる学習を厳選し、生徒が主体的に取り組むことができるように指導の重点を図っています。
- 生徒一人ひとりの学習の習熟度に応じた学習内容の工夫を行います。
- 学習目標を明確にして、学習課題に意欲的に取り組んでいきます
- 学習成果を振り返ったり、鑑賞したりすることにより、学習内容の定着を図ります。

### 持ち物

- 教科書
- 美術資料
- ファイル
- 絵具
- 雑巾
- 鉛筆・筆記具
- 色鉛筆
- 彫刻刀

### 評価規準(目標)と評価基準(判断基準), および評価資料

観点	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	●目標 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。	●目標 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めようとしている。	●目標 主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養おうとしている。
	●評価規準 ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。	●評価規準 ・自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めようとしている。	●評価規準 ・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現及び、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価基準	十分満足できる……A, おおむね満足できる……B, 努力を要する……C		
評価方法	●発言や発表の内容 ●ワークシートの内容 ●アイデアスケッチの内容 ●制作途中の作品 ●完成作品 ●定期テスト	●発言や発表の内容 ●制作活動の様子 ●ワークシートの内容 ●アイデアスケッチの内容 ●制作途中の作品 ●完成作品 ●定期テスト	●発言や発表の内容 ●グループワークでの様子 ●ワークシートの内容 ●アイデアスケッチの内容 ●提出物、発表、鑑賞などの内容

### 評定について

観点合計点	9	7～8	5～6	4	3
評定	5	4	3	2	1

## 年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容
1	4	2 1	【オリエンテーション】 美を探し求めて・浮世絵の模写 【デ・工】 空想の世界への誘い
	5	2 1	【デ・工】 暮らしを心地よくするインテリア・下描き 【絵・彫】 屏風絵の制作
	6	4	【絵・彫】 屏風絵の制作
	7	2	【鑑賞】 鑑賞・まとめ 【絵・彫】 夏休み宿題
小計		12	
2	8	1	【絵・彫】 制作
	9	2 2	【2学期の学習】 鑑賞 【デ・工】 イメージを形で表現しよう
	10	4	【絵・彫】 モニュメントの制作
	11	4	【絵・彫】 モニュメントの制作
	12	2	【鑑賞】 鑑賞・まとめ
小計		15	
3	1	1 2	【3学期の学習】 鑑賞 【デ・工】 篆刻下描き
	2	4	【絵・彫】 篆刻
	3	1	【鑑賞】 鑑賞・まとめ
小計		8	
合計		35	

# 第1学年／保健体育科

## 授業内容、授業の進め方

- 心と体を一体として捉え、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てます。
- 生徒一人ひとりの課題に応じた学習内容の工夫を行います。
- 学習目標を明確にして、学習課題に意欲的に取り組んでいきます。
- 授業の成果を振り返ったり、伝えあったりすることにより、履修内容の定着を図ります。
- 集団の中の一員として行動し、ルールや規律をきちんと守り、社会性を育てます。

## 持ち物

- 体操服
- 教科書
- ファイル
- 筆記用具
- 体育館シューズ  
(水泳：水着、水泳帽、タオル、(ゴーグル、ビーチサンダルは希望者のみ)

## 評価規準(目標)と評価基準(判断基準)、および評価資料

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	○体育分野 各運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、伝統的な考え方、各領域に関連して高まる体力、健康・安全の留意点についての具体的な方法及び運動やスポーツの多様性、運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての考え方を理解しているとともに、各領域の運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。	○体育分野 運動を豊かに実施するための自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。	○体育分野 運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生などに対する意欲をもち、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。
	○保健分野 健康な生活と疾病の予防、心身の機能と発達と心の健康について、個人の生活を中心として科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。	○保健分野 健康な生活と疾病の予防、心身の機能と発達と心の健康について、個人の生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	○保健分野 健康な生活と疾病の予防、心身の機能の発達と心の健康について、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。
評価基準	十分満足できる……A, おおむね満足できる……B, 努力を要する……C		
評価方法	●筆記テスト ●技能テスト	●課題等の提出状況と内容（ファイル等） ●筆記テスト	●授業の観察（態度や発表など） ●振り返り等の提出状況と内容

## 評定について

観点 合計点	9	7～8	5～6	4	3
評定	5	4	3	2	1

## 年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容
1	4	3	【男女】体づくり運動 集団行動 ラジオ体操
		4	
		3	
	5	3 4 2	体育理論 【男】体づくり運動 【男】器械運動
6	3	【男】器械運動	【女】体づくり運動
	6 1	保健 【男女】水泳 (クロール、平泳ぎ)	
7	4	【男女】水泳 (クロール、平泳ぎ)	
小計		3 3	
2	8	2	【男女】水泳 (クロール、平泳ぎ)
	9	2	【男女】水泳 (クロール、平泳ぎ)
		1 0	【男】陸上 (短距離走、リレー)      【女】陸上 (短距離走、リレー)
	10	8	【男】球技      【女】武道
	11	6	保健
7		【男女】陸上競技 (長距離走)	
12	3	【男女】陸上競技 (長距離走)	
	8	【男】球技      【女】球技	
小計		4 6	
3	1	2	【男】球技      【女】球技
		6	保健
	2	8	【男】球技      【女】ダンス
2	5	【男】球技	
	3	3	【男】球技      【女】ダンス
小計		2 6	
合計		1 0 5	

気候などの状況により、変更する場合があります。

## 第2学年／保健体育科

### 授業内容、授業の進め方

- 心と体を一体として捉え、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てます。
- 生徒一人ひとりの課題に応じた学習内容の工夫を行います。
- 学習目標を明確にして、学習課題に意欲的に取り組んでいきます。
- 授業の成果を振り返ったり、伝えあったりすることにより、履修内容の定着を図ります。
- 集団の中の一員として行動し、ルールや規律をきちんと守り、社会性を育てます。

### 持ち物

- 体操服
- 教科書
- ファイル
- 筆記用具
- 体育館シューズ  
(水泳：水着、水泳帽、タオル、(ゴーグル、ビーチサンダルは希望者のみ)

### 評価規準(目標)と評価基準(判断基準)、および評価資料

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	○体育分野 各運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、伝統的な考え方、各領域に関連して高まる体力、健康・安全の留意点についての具体的な方法及び運動やスポーツの多様性、運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての考え方を理解しているとともに、各領域の運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。	○体育分野 運動を豊かに実施するための自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。	○体育分野 運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生などに対する意欲をもち、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。
	○保健分野 健康な生活と疾病の予防、傷害の防止について、個人の生活を中心として科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。	○保健分野 健康な生活と疾病の予防、傷害の防止について、個人の生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	○保健分野 健康な生活と疾病の予防、傷害の防止について、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。
評価基準	十分満足できる……A, おおむね満足できる……B, 努力を要する……C		
評価方法	●筆記テスト ●技能テスト	●課題等の提出状況と内容（ファイル等） ●筆記テスト	●授業の観察（態度や発表など） ●振り返り等の提出状況と内容

### 評定について

観点 合計点	9	7～8	5～6	4	3
評定	5	4	3	2	1

## 年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容
1	4	2	【男女】体づくり運動 集団行動 ラジオ体操 【男】体づくり運動 【女】器械運動
		4	
		4	
	5	2	【男】体づくり運動 【女】器械運動 体育理論 【男】球技 【女】体づくり運動
3			
4			
6	2	【男】球技 【女】体づくり運動 保健 【男女】水泳 (クロール、平泳ぎ、背泳ぎ)	
	6		
	2		
7	4	【男女】水泳 (クロール、平泳ぎ、背泳ぎ)	
小計		3 3	
2	8	2	【男女】水泳 (クロール、平泳ぎ、背泳ぎ)
	9	2	【男女】水泳 (クロール、平泳ぎ、背泳ぎ) 【男女】陸上 (短距離走、リレー、走り高跳び)
		10	
	10	8	【男】球技 【女】球技
	11	6	保健 【男女】陸上 (長距離走)
7			
12	3	【男女】陸上 (長距離走) 【男】球技 【女】球技	
小計		4 6	
3	1	2	【男】球技 【女】球技 保健 【男】球技 【女】球技
		6	
	2	8	【男】球技 【女】球技 【男】球技 【女】ダンス
5			
3	3	【男】球技 【女】ダンス	
小計		2 6	
合計		1 0 5	

気候などの状況により、変更する場合があります。

## 第3学年／保健体育科

### 授業内容、授業の進め方

- 心と体を一体として捉え、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てます。
- 生徒一人ひとりの課題に応じた学習内容の工夫を行います。
- 学習目標を明確にして、学習課題に意欲的に取り組んでいきます。
- 授業の成果を振り返ったり、伝えあったりすることにより、履修内容の定着を図ります。
- 集団の中の一員として行動し、ルールや規律をきちんと守り、社会性を育てます。

### 持ち物

- 体操服
- 教科書
- ファイル
- 筆記用具
- 体育館シューズ  
(水泳：水着、水泳帽、タオル、(ゴーグル、ビーチサンダルは希望者のみ)

### 評価規準(目標)と評価基準(判断基準)、および評価資料

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	○体育分野 各運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、伝統的な考え方、各領域に関連して高まる体力、健康・安全の留意点についての具体的な方法及び運動やスポーツの多様性、運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての考え方を理解しているとともに、各領域の運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。	○体育分野 運動を豊かに実施するための自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。	○体育分野 運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生などに対する意欲をもち、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。
	○保健分野 健康な生活と疾病の予防、健康と環境について、個人の生活を中心として科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。	○保健分野 健康な生活と疾病の予防、健康と環境について、個人の生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	○保健分野 健康な生活と疾病の予防、健康と環境について、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。
評価基準	十分満足できる……A, おおむね満足できる……B, 努力を要する……C		
評価方法	●筆記テスト ●技能テスト	●課題等の提出状況と内容（ファイル等） ●筆記テスト	●授業の観察（態度や発表など） ●振り返り等の提出状況と内容

### 評定について

観点 合計点	9	7～8	5～6	4	3
評定	5	4	3	2	1

## 年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容
1	4	2	【男女】体づくり運動 集団行動 ラジオ体操 【男】球技 【女】球技
		4	
		4	
	5	5 3 4	【男】球技 【女】球技 体育理論 【男】球技 【女】球技
6	4 6 2	【男】球技 【女】球技 保健 【男女】水泳 (4泳法、リレー)	
7	4	【男女】水泳 (4泳法、リレー)	
小計		38	
2	8	2	【男女】水泳 (4泳法、リレー)
	9	2	【男女】水泳 (4泳法、リレー) 【男女】陸上 (短距離走、リレー)
		10	
	10	8	【男】球技 【女】球技
	11	6	保健 【男女】陸上競技 (長距離走)
8			
12	6	【男】球技 【女】球技	
小計		42	
3	1	4	【男】球技 【女】球技 保健 【男】球技 【女】球技
		6	
	2	5 5	【男】球技 【女】ダンス 体づくり運動
3	3	【男】球技 【女】ダンス	
小計		25	
合計		105	

気候などの状況により、変更する場合があります。

## 第1学年／技術・家庭科（技術分野）

### 授業内容、授業の進め方

- 技術の見方、考え方を身に付けさせ、技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成するために、基礎・基本となる学習内容を厳選し、生徒が主体的に取り組むことが出来るように指導の重点化を図っています。
- 学習目標を明確にして、技術的な基礎知識と技能の習得に必要な学習課題に意欲的に取り組んでいきます。
- 学習成果を自己評価し、知識や技能を文章で説明できる、思考力、判断力、表現力の定着を図ります。

### 持ち物

- 教科書、ファイル、筆記用具

### 評価規準(目標)と評価基準(判断基準), および評価資料

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	材料と加工, エネルギー変換, 生物育成及び情報に関する技術についての基礎的・基本的な知識と技能を身に付け, 技術と社会や環境とのかかわりについて理解し, 技術を適切に活用できている。	材料と加工, エネルギー変換, 生物育成及び情報に関する技術のあり方や活用の仕方等について各教科などの知識及び技能を活用して, 課題を解決するための思考力、判断力、表現力を身に付けている。	材料と加工, エネルギー変換, 生物育成及び情報に関する技術について関心を持ち, 技術のあり方や活用の仕方等に関する課題の解決のために, 主体的に技術を評価し活用し, 自らの学習を調整し, 粘り強く取り組もうとする。
評価基準	十分満足できる……A, おおむね満足できる……B, 努力を要する……C		
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>● テスト</li> <li>● 提出物の記述内容</li> <li>● 作品、技能</li> <li>● 実技</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● テスト</li> <li>● 課題の記述内容</li> <li>● 作品、技能</li> <li>● 発表やワークシートの記述内容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 準備物や技能</li> <li>● 課題などの提出状況と内容</li> <li>● ノートやワークシートの記述内容</li> </ul>

### 評定について

観点 合計点	9	8～7	6～5	4	3
評定	5	4	3	2	1

## 年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容
1	4	3	技術分野のガイダンス、技術の発達
	5	3	設計と製図
	6	3	材料と加工法
	7	3	作品の設計と製作
小計		12	
2	8	1	作品の製作・作品の作図
	9	4	作品の製作・材料の加工
	10	4	作品の製作・材料の加工
	11	4	作品の製作・材料の加工
	12	2	作品の組み立て
小計		15	
3	1	3	作品の仕上げ 研磨・塗装
	2	4	作品の仕上げ（美術科とコラボレーション）
	3	3	作品の鑑賞
小計		10	
合計		37	

## 第2学年／技術・家庭科（技術分野）

### 授業内容、授業の進め方

- 技術の見方、考え方を身に付けさせ、技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成するために、基礎・基本となる学習内容を厳選し、生徒が主体的に取り組むことが出来るように指導の重点化を図っています。
- 学習目標を明確にして、技術的な基礎知識と技能の習得に必要な学習課題に意欲的に取り組んでいきます。
- 学習成果を自己評価し、知識や技能を文章で説明できる、思考力、判断力、表現力の定着を図ります。

### 持ち物

- 教科書、ファイル、筆記用具

### 評価規準(目標)と評価基準(判断基準), および評価資料

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	材料と加工, エネルギー変換, 生物育成及び情報に関する技術についての基礎的・基本的な知識と技能を身に付け, 技術と社会や環境とのかかわりについて理解し, 技術を適切に活用できている。	材料と加工, エネルギー変換, 生物育成及び情報に関する技術のあり方や活用の仕方等について各教科などの知識及び技能を活用して, 課題を解決するための思考力、判断力、表現力を身に着けている。	材料と加工, エネルギー変換, 生物育成及び情報に関する技術について関心をもち, 技術のあり方や活用の仕方等に関する課題の解決のために, 主体的に技術を評価し活用し, 自らの学習を調整し, 粘り強く取り組もうとする。
評価基準			
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>● テスト</li> <li>● 提出物の記述内容</li> <li>● 作品、技能</li> <li>● 実技</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● テスト</li> <li>● 課題の記述内容</li> <li>● 作品、技能</li> <li>● 発表やワークシートの記述内容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 準備物や技能</li> <li>● 課題などの提出状況と内容</li> <li>● ノートやワークシートの記述内容</li> </ul>

### 評定について

観点 合計点	9	8～7	6～5	4	3
評定	5	4	3	2	1

## 年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容
1	4	3	技術分野ガイダンス、生物育成に関する技術
	5	3	作物の栽培
	6	3	作物についてデジタル作品の制作
	7	3	デジタル作品の発表
小計		12	
2	8	1	電気を生み出す仕組み
	9	4	電気を生み出す仕組み
	10	4	エネルギー変換と発電
	11	4	エネルギー変換と発電
	12	2	デジタル作品の制作
小計		15	
3	1	4	電気回路と電子部品
	2	3	電気製品の製作、はんだ付け
	3	3	電気製品の製作、仕上げ
小計		10	
合計		37	

## 第3学年／技術・家庭科（技術分野）

### 授業内容、授業の進め方

- 技術の見方、考え方を身に付けさせ、技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成するために、基礎・基本となる学習内容を厳選し、生徒が主体的に取り組むことが出来るように指導の重点化を図っています。
- 学習目標を明確にして、技術的な基礎知識と技能の習得に必要な学習課題に意欲的に取り組んでいきます。
- 学習成果を自己評価し、知識や技能を文章で説明できる、思考力、判断力、表現力の定着を図ります。

### 持ち物

- 教科書、ファイル、筆記用具、教育情報利用パソコン

### 評価規準(目標)と評価基準(判断基準), および評価資料

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	材料と加工, エネルギー変換, 生物育成及び情報に関する技術についての基礎的・基本的な知識と技能を身に付け, 技術と社会や環境とのかかわりについて理解し, 技術を適切に活用できている。	材料と加工, エネルギー変換, 生物育成及び情報に関する技術のあり方や活用の仕方等について各教科などの知識及び技能を活用して, 課題を解決するための思考力、判断力、表現力を身に着けている。	材料と加工, エネルギー変換, 生物育成及び情報に関する技術について関心を持ち, 技術のあり方や活用の仕方等に関する課題の解決のために, 主体的に技術を評価し活用し, 自らの学習を調整し, 粘り強く取り組もうとする。
評価基準	十分満足できる……A, おおむね満足できる……B, 努力を要する……C		
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>● テスト</li> <li>● 提出物の記述内容</li> <li>● 作品、技能</li> <li>● 実技</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● テスト</li> <li>● 課題の記述内容</li> <li>● 作品、技能</li> <li>● 発表やワークシートの記述内容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 準備物や技能</li> <li>● 課題などの提出状況と内容</li> <li>● ノートやワークシートの記述内容</li> </ul>

### 評定について

観点 合計点	9	8～7	6～5	4	3
評定	5	4	3	2	1

## 年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容
1	4	3	デジタル作品の制作
	5	3	デジタル作品の制作
	6	3	情報の技術
	7	3	情報の技術
小計		12	
2	8	1	計測制御、プログラミングの役割
	9	4	計測制御、ロボット制御、仕組みと理解
	10	4	ロボット制御、プログラミングによるロボット制御
	11	4	HTML でデジタル作品の制作
	12	2	HTML でデジタル作品の制作
小計		15	
3	1	10	プレゼンテーションソフトによるプレゼンテーションの制作
	2		
	3		
小計		10	
合計		37	

## 第1学年／技術・家庭科(家庭分野)

### 授業内容、授業の進め方

- 各領域・事項の系統性をふまえたうえで、身に付けさせる能力の基礎・基本となる学習内容を厳選し、生徒が主体的に取り組むことが出来るように指導の重点化を図っています。
- 学習目標を明確にして、学習課題に意欲的に取り組んでいます。
- 学習成果を振り返ったり、伝えあったりすることにより、学習内容の定着を図ります。

### 持ち物

- 教科書
- 技術家庭ノート（ワークノート）
- 筆記用具
- 体育館シューズ
- 裁縫道具

### 評価規準(目標)と評価基準(判断基準), および評価資料

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<p>家族・家庭生活、衣食住の生活について理解している。</p> <p>家族・家庭生活、衣食住の生活について理解しているとともに、適切にできる。</p>	<p>家族・家庭生活、衣食住の生活について問題を見いだして課題を設定し(実践に向けた計画を)考え、工夫している。</p> <p>家族・家庭生活、衣食住の生活について、実践を評価したり、改善したりしている。</p> <p>家族・家庭生活、衣食住の生活についての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。</p>	<p>家族・家庭生活、衣食住の生活について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>家族・家庭生活、衣食住の生活について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。</p> <p>家族・家庭生活、衣食住の生活について工夫し創造し、実践しようとしている。</p>
評価基準	十分満足できる……A, おおむね満足できる……B, 努力を要する……C		
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>● テスト</li> <li>● 製作作品</li> <li>● 被服実習、調理実習等</li> <li>● 観察</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● テスト</li> <li>● レポート、ワークノート、振り返り等提出物</li> <li>● 観察</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 準備物</li> <li>● 製作作品</li> <li>● レポート、ワークノート等提出状況や内容</li> </ul>

### 評定について

観点 合計点	9	7～8	5～6	4	3
評定	5	4	3	2	1

## 年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容
1	4 5 6 7	1	家庭分野のガイダンス
		5	日常着の活用
		3	日常着の手入れ
		3	布を用いた物の製作
小計		1 2	
2	8 9 10 11 12	9	布を用いた物の製作
		2	日常着の手入れ
		4	住まいのはたらき
小計		1 5	
3	1 2 3	3	健康で安全な住まい
		2	住まいと地域
		2	調理の計画
		1	調理実習の計画と記録
		2	調理をしよう
小計		1 0	
合計		3 7	

## 第2学年／技術・家庭科(家庭分野)

### 授業内容，授業の進め方

- 各領域・事項の系統性をふまえたうえで，身に付けさせる能力の基礎・基本となる学習内容を厳選し，生徒が主体的に取り組むことが出来るように指導の重点化を図っています。
- 学習目標を明確にして，学習課題に意欲的に取り組んでいます。  
学習成果を振り返ったり，伝えあったりすることにより，学習内容の定着を図ります。

### 持ち物

- 教科書
- 技術家庭ノート（ワークノート）
- 筆記用具
- 体育館シューズ
- 裁縫道具

### 評価規準(目標)と評価基準(判断基準)，および評価資料

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	衣食住の生活について理解している。 衣食住の生活について理解しているとともに、適切にできる。	衣食住の生活について問題を見いだして課題を設定し（実践に向けた計画を）考え・工夫している。 衣食住の生活について、実践を評価したり・改善したりしている。 衣食住の生活についての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。	衣食住の生活について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 衣食住の生活について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 衣食住の生活について工夫し創造し、実践しようとしている。
評価基準	十分満足できる……A，おおむね満足できる……B，努力を要する……C		
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>● テスト</li> <li>● 製作作品</li> <li>● 被服実習、調理実習等</li> <li>● 観察</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● テスト</li> <li>● レポート、ワークノート、振り返り等提出物</li> <li>● 観察</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 準備物</li> <li>● 製作作品</li> <li>● レポート、ワークノート等提出状況や内容</li> </ul>

### 評定について

観点 合計点	9	7～8	5～6	4	3
評定	5	4	3	2	1

## 年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容
1	4	4	健康と食生活
	5 6	3	調理をしよう
	7	4	布を用いた物の製作
小計		11	
2	8	5	布を用いた物の製作
	9 10	6	健康と食生活
	11	2	調理をしよう
	12	1	食品の選択と保存
		1	地域の食材と食文化
小計		15	
3	1	4	食品の選択と保存
	2 3	6	調理をしよう
小計		10	
合計		37	

## 第3学年／技術・家庭科(家庭分野)

### 授業内容，授業の進め方

- 各領域・事項の系統性をふまえたうえで，身に付けさせる能力の基礎・基本となる学習内容を厳選し，生徒が主体的に取り組むことが出来るように指導の重点化を図っています。
- 学習目標を明確にして，学習課題に意欲的に取り組んでいます。
- 学習成果を振り返ったり，伝えあったりすることにより，学習内容の定着を図ります。

### 持ち物

- 教科書
- 技術家庭ノート（ワークノート）
- 筆記用具
- 体育館シューズ
- 裁縫道具

### 評価規準(目標)と評価基準(判断基準)，および評価資料

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<p>家族・家庭生活、衣食住の生活、消費生活・環境について理解している。</p> <p>家族・家庭生活、衣食住の生活、消費生活・環境について理解しているとともに、適切にできる。</p>	<p>家族・家庭生活、衣食住の生活、消費生活・環境について問題を見いだして課題を設定し（実践に向けた計画）考え、工夫している。</p> <p>家族・家庭生活、衣食住の生活、消費生活・環境について、実践を評価したり、改善したりしている。</p> <p>家族・家庭生活、衣食住の生活、消費生活・環境についての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。</p>	<p>家族・家庭生活、衣食住の生活、消費生活・環境について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>家族・家庭生活、衣食住の生活、消費生活・環境について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。</p> <p>家族・家庭生活、衣食住の生活、消費生活・環境について工夫し創造し、実践しようとしている。</p>
評価基準	十分満足できる……A, おおむね満足できる……B, 努力を要する……C		
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>● テスト</li> <li>● 製作作品</li> <li>● 被服実習、調理実習等</li> <li>● 観察</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● テスト</li> <li>● 製作作品</li> <li>● 製作作品の発表等</li> <li>● レポート、ワークノート、振り返り等提出物</li> <li>● 観察</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 準備物</li> <li>● 製作作品</li> <li>● レポート、ワークノート等提出状況や内容</li> </ul>

### 評定について

観点 合計点	9	7～8	5～6	4	3
評定	5	4	3	2	1

## 年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容
1	4	2	わたしの成長と家族・地域
	5	2	わたしたちと家族・家庭と地域
	6 7	8	幼児の生活と遊び
小計		12	
2	8	3	幼児の生活と遊び
	9	2	これからのわたしと家族
	10	2	家庭生活と消費
	11	3	商品の選択と購入
	12	3	よりよい消費生活のために
	12	2	環境に配慮した消費生活
小計		15	
3	1	5	環境に配慮した消費生活
	2	1	日常着の手入れ
	3	1	健康と食生活
	3	3	布や糸など身のまわりのものを用いた物の製作
小計		10	
合計		37	

# 第1学年／英語科

## 授業内容、授業の進め方

- ・はっきりと話されれば、ストーリーや日常的な話題について、おおまかな内容を捉えることができる。（聞く力）
- ・ストーリーや日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた文章から、おおまかな内容を捉えることができる。（読む力）
- ・ストーリーや日常的な話題について、簡単な語句や文を使って、やり取りをすることができる。（話す力（やり取り））
- ・ストーリーや日常的な話題について、事実や気持ちを整理して、簡単な語句や文を使って、まとまりのある内容を話すことができる。（話す力（発表））
- ・日常的な話題について、事実や気持ちを整理して、簡単な語句や文を使って、まとまりのある文章を書くことができる。（書く力）
- ・学習目標を明確にして、学習課題に意欲的に取り組む。
- ・個人、ペアワーク、グループワークなど、さまざまな形態で言語活動を行う。
- ・学習成果を振り返り、学習内容の定着をはかる。

## 持ち物

- ・教科書 Here We Go! ENGLISH COURSE1
- ・ノート（英語4線ノート）
- ・ワークブック ・ペンマンシップ ・ファイル ・（英和辞典）

## 評価規準(目標)と評価基準(判断基準), および評価資料

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<p>○「知識」について 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>○「技能」について ・「話すこと（やり取り）」 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合う技能を身に付けている。 ・「話すこと（発表）」 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話す技能を身に付けている。 ・「書くこと」 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、またはそれらを正確に用いて書く技能を身に付けている。 ・「聞くこと」 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、はっきりと話された文章等を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。 ・「読むこと」 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた短い文章等を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。</p>	<p>・「話すこと（やり取り）」 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、伝え合っている。 ・「話すこと（発表）」 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、話している。 ・「書くこと」 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、書いている。 ・「聞くこと」 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題についてはっきりと話される文章を聞いて、必要な情報や概要、要点を捉えている。 ・「読むこと」 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた短い文章を読んで、必要な情報や概要、要点などを捉えている。</p>	<p>・「話すこと（やり取り）」 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に英語を用いて伝え合おうとしている。 ・「話すこと（発表）」 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて話そうとしている。 ・「書くこと」 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて書こうとしている。 ・「聞くこと」 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されていることを聞こうとしている。 ・「読むこと」 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的に英語で書かれていることを読もうとしている。</p>
評価基準	十分満足できる……A, おおむね満足できる……B, 努力を要する……C		
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テスト</li> <li>・観察</li> <li>・ノート・ワークシート等提出物</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テスト</li> <li>・観察</li> <li>・スピーチ・プレゼン等発表</li> <li>・レポート・ノート・ワークシート等提出物</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テスト</li> <li>・観察</li> <li>・振り返りシート・ノート・ワークシート等提出物</li> </ul>

## 評定について

観点 合計点	9	7～8	5～6	4	3
評定	5	4	3	2	1

## 年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容
1	4	12	気持ちや状態を表す語 色を表す語 国の名前 数を表す語 日付や月を表す語 アルファベット 英語の音とつづり I am～.
	5	14	I like～./I don't like～. I can～./I can't ～. ローマ字 Are you～?
	6	16	Do you～? Can you～? What do you～? I like dancing. I want to～.
	7	10	How many ～? am,are/一般動詞/can 既習の表現
小計		52	
2	8	2	He is～./She is～.
	9	14	Who is～? Is he～?/He isn't～.
	10	16	Where is～? Watch your step. When is～? Whose ～? 代名詞
	11	16	She likes ～. Does she～? She doesn't～. is/3人称単数現在形 Which～? How much～?
	12	10	What time～? 疑問詞 既習の表現
小計		58	
3	1	12	既習の表現 I went ～. Did you ～? It was ～.
	2	16	動詞の過去形 既習の表現 I am baking～. Are you baking～? It looks ～. 現在進行形 既習の表現
	3	12	既習の表現
小計		40	
合計		150	

## 第2学年／英語科

### 授業内容、授業の進め方

- ・はっきりと話されれば、ストーリーや日常的な話題について、おおまかな内容を捉えることができる。（聞く力）
- ・ストーリーや日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた文章から、おおまかな内容を捉えることができる。（読む力）
- ・ストーリーや日常的な話題について、簡単な語句や文を使って、やり取りをすることができる。（話す力（やり取り））
- ・ストーリーや日常的な話題について、事実や気持ちを整理して、簡単な語句や文を使って、まとまりのある内容を話すことができる。（話す力（発表））
- ・日常的な話題について、事実や気持ちを整理して、簡単な語句や文を使って、まとまりのある文章を書くことができる。（書く力）
- ・学習目標を明確にして、学習課題に意欲的に取り組む。
- ・個人、ペアワーク、グループワークなど、さまざまな形態で言語活動を行う。
- ・学習成果を振り返り、学習内容の定着をはかる。

### 持ち物

- ・教科書 Here We Go! ENGLISH COURSE2
- ・ノート
- ・ワークブック ・ファイル ・（英和辞典）

### 評価規準(目標)と評価基準(判断基準), および評価資料

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<p>○「知識」について 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>○「技能」について ・「話すこと（やり取り）」 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合う技能を身に付けている。 ・「話すこと（発表）」 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話す技能を身に付けている。 ・「書くこと」 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、またはそれらを正確に用いて書く技能を身に付けている。 ・「聞くこと」 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、はっきりと話された文章等を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。 ・「読むこと」 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた短い文章等を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。</p>	<p>・「話すこと（やり取り）」 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、伝え合っている。 ・「話すこと（発表）」 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、話している。 ・「書くこと」 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、書いている。 ・「聞くこと」 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題についてはっきりと話される文章を聞いて、必要な情報や概要、要点を捉えている。 ・「読むこと」 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた短い文章を読んで、必要な情報や概要、要点などを捉えている。</p>	<p>・「話すこと（やり取り）」 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に英語を用いて伝え合おうとしている。 ・「話すこと（発表）」 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて話そうとしている。 ・「書くこと」 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて書こうとしている。 ・「聞くこと」 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されていることを聞こうとしている。 ・「読むこと」 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的に英語で書かれていることを読もうとしている。</p>
評価基準	十分満足できる……A, おおむね満足できる……B, 努力を要する……C		
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テスト</li> <li>・観察</li> <li>・ノート・ワークシート等提出物</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テスト</li> <li>・観察</li> <li>・スピーチ・プレゼン等発表</li> <li>・レポート・ノート・ワークシート等提出物</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テスト</li> <li>・観察</li> <li>・ノート・ワークシート等提出物</li> </ul>

### 評定について

観点 合計点	9	7～8	5～6	4	3
評定	5	4	3	2	1

## 年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容
1	4	12	I went ~./How was~? I was studying~. When I was~.
	5	14	動詞の過去形 過去進行形 I don't like playing~. Hajin wants to~. I think (that)~.
	6	16	動名詞 不定詞 (名詞的用法) May I~? Can you~? I'm going to~. It will~. If you are ~. be going to/will
	7	10	既習の表現
小計		52	
2	8	2	Shall I~? Will you~?
	9	14	There is~./There are~. Show me the leaflet. a place to stay Could you~? How long~?
	10	16	目的語 have to/don't have to must/must not should/should not 既習の表現 I think you should~.
	11	16	助動詞 He's here to help you. ~because ... I'm glad to hear~. 不定詞 (形容詞的用法・副詞的用法) 接続詞
12	10	既習の表現	
小計		58	
3	1	12	比較級 最上級 as~as...
	2	16	既習の表現 比較表現 were written by~ make me nervous want you to do~ 受け身の文
	3	12	既習の表現
小計		40	
合計		150	

## 第3学年／英語科

### 授業内容、授業の進め方

- ・はっきりと話されれば、ストーリーや日常的な話題や社会的な話題について、要点を捉えることができる。（聞く力）
- ・日常的な話題や社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた文章から、要点を捉えることができる。（読む力）
- ・聞いたり読んだりしたことについて、簡単な語句や文を使って、要点や自分の考えなどを伝え合うことができる。（話す力（やり取り））
- ・聞いたり読んだりしたことについて、気持ちを整理して、簡単な語句や文を使って、要点や自分の考えなどを話すことができる。（話す力（発表））
- ・聞いたり読んだりしたことについて、簡単な語句や文を使って、要点や自分の考えなどを書くことができる。（書く力）
- ・学習目標を明確にして、学習課題に意欲的に取り組む。
- ・個人、ペアワーク、グループワークなど、さまざまな形態で言語活動を行う。
- ・学習成果を振り返り、学習内容の定着をはかる。

### 持ち物

- ・教科書 Here We Go! ENGLISH COURSE3
- ・ノート
- ・ワークブック ・ファイル（英和辞典）

### 評価規準(目標)と評価基準(判断基準), および評価資料

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<p>○「知識」について 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>○「技能」について ・「話すこと（やり取り）」 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合う技能を身に付けている。 ・「話すこと（発表）」 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話す技能を身に付けている。 ・「書くこと」 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、またはそれらを正確に用いて書く技能を身に付けている。 ・「聞くこと」 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、はっきりと話された文章等を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。 ・「読むこと」 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた短い文章等を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。</p>	<p>・「話すこと（やり取り）」 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、伝え合っている。 ・「話すこと（発表）」 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、話している。 ・「書くこと」 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、書いている。 ・「聞くこと」 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題についてはっきりと話される文章を聞いて、必要な情報や概要、要点を捉えている。 ・「読むこと」 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた短い文章を読んで、必要な情報や概要、要点などを捉えている。</p>	<p>・「話すこと（やり取り）」 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に英語を用いて伝え合おうとしている。 ・「話すこと（発表）」 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて話そうとしている。 ・「書くこと」 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて書こうとしている。 ・「聞くこと」 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されていることを聞こうとしている。 ・「読むこと」 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的に英語で書かれていることを読もうとしている。</p>
評価基準	十分満足できる……A, おおむね満足できる……B, 努力を要する……C		
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テスト</li> <li>・観察</li> <li>・ノート・ワークシート等提出物</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テスト</li> <li>・観察</li> <li>・スピーチ・プレゼン等発表</li> <li>・レポート・ノート・ワークシート等提出物</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テスト</li> <li>・観察</li> <li>・振り返りシート・ノート・ワークシート等提出物</li> </ul>

### 評定について

観点 合計点	9	7～8	5～6	4	3
評定	5	4	3	2	1

## 年間指導計画

学期	月	配当時間	単元, 学習内容
1	4	12	Unit1 School Life Around the World ・The classes are taught～. (受け身の文) ・Let me show you～. (let/help+人・もの+動詞) ・Ms. Brown told us that～. (tell+人+that+文の構文)
	5	14	Daily Life1 ・既習の表現 Unit2 Our School Trip ・現在完了形(完了) ・現在完了形(経験)
	6	16	Daily Life2 ・既習の表現 Unit3 Lessons From Hiroshima ・現在完了形(継続) ・現在完了進行形 ・It is～for us to… Active Grammar1 ・現在完了形/現在完了進行形
	7	10	Let's Read1 From the Dairy of Kawamoto Itsuyoshi World Tour1 You Can Do It!1 ・既習の表現
小計		52	
2	8	2	Unit4 AI Technology and Language ・関係代名詞(主格) which,who,that
	9	14	・関係代名詞(主格) which,who,that Let's Read2 Robots Make Dreams Come Ture ・既習の表現
	10	16	Daily Life3 ・既習の表現 Unit5 Plastic Waste ・関係代名詞(目的格) which,that ・接触節
	11	14	Unit6 The Chorus Contest ・two people playing～. (動詞の～ingによる後置修飾) ・T-shirts designed by～. (過去分詞による後置修飾) ・Tell us why you are～. (間接疑問文)
	12	10	Active Grammar2 ・後置修飾 You Can Do It!2 ・既習の表現 Unit7 Tina's Speech ・what to expect～ (疑問詞+to+動詞) ・If I could～, I would… (if～の仮定法の構文)
小計		56	
3	1	12	World Tour2 How Do We Live? Let's Read3 Changing the World ・既習の表現 Unit8 Goodbye, Tina ・I wish you weren't～. (I wish～の仮定法の構文)
	2	16	You Can Do It!3 Let's Read More1 The Runner Wearing Number 67 Let's Read More2 Visas for 6,000 Lives Let's Read More3 The Adventure of Tom Sawyer ・既習の表現
	3	8	Story Retelling Let's talk! Active Words ・既習の表現
小計		36	
合計		144	